



平成7年度指定 高指第79号

内免 悌次郎

【雅号】紫峰 しほう

生年／昭和10年 指定技術名／銅器・仕上



さる

猿

仕上技術者として技術の研鑽に励み、その精緻な仕上技術には目を見張るものがある。特に、ヒョウタン鑿を用い動物の毛並みを表現する技法や、鯉の鱗を銃のみで完成させる技は見事の一言に尽きる。

平成10年作 素材・技法／青銅・焼型鑄造 寸法／高さ30cm×幅23cm×奥行30cm

[表彰・受賞歴]

昭和49年 高岡伝統工芸加工技術振興展最優秀賞
(以後、1回)
平成17年 瑞宝単光章

[経歴]

昭和25年 父勝二に師事し銅器仕上技術を修業
昭和56年 伝統工芸士に認定
平成 8年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定